

2022年3月17日

## 「令和3年度 地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」 内閣府特命担当大臣（地方創生担当）表彰の受賞について

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局が認定する「地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」に選定され、昨年度に引き続き2年連続で内閣府特命担当大臣（地方創生担当）表彰を受けましたので、お知らせいたします。

当行は、今後も地域課題の解決に向け、地方創生に資する産業振興機能をさらに強化し、地域の皆さまとともに新たな価値を創造してまいります。

記

### 1 表彰の概要

金融機関等の地方創生に資する主体的な取組みを内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局が評価し、地方公共団体等と連携している事例や先駆性のある事例などを表彰するものです。

令和3年度は、当行の取組みを含む31事例が表彰され、2022年3月16日（水）にオンラインでの表彰式が開催されました。

### 2 受賞内容

事業名	台湾企業から地域商社への出資受入を通じた取引先の海外支援強化
概要	<p>○県内事業者さまが抱える様々な営業上の課題を解決し、地域の魅力ある資源や特産品の販路拡大をはかるため、2021年4月に地域商社「詩の国秋田株式会社」を設立し、マーケティングやブランディング、国内外での販路開拓といったトータルプロデュースを実施</p> <p>○銀行系地域商社では全国初となる台湾企業（中国信託ホールディングスのグループ企業）からの出資受入れにより、従来より取引支援を強化していた台湾において、より強固な輸出入の支援体制を整備</p>

（注）取組みの詳細につきましては別紙をご参照ください。

（以 上）



#### SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030年までに解決すべき世界的優先課題 17 目標と目標を達成するための 169 のターゲットが示されています。

(別 紙)

### 【オンライン表彰式の模様】



○野田聖子内閣府特命担当大臣より表彰を受けました。

### 【地域商社「詩の国秋田」の取組み】



○台湾に輸出した秋田県産りんご「紅あかり」



○事務所内ショールーム（地元製品のPR）

(以 上)

## ● 「台湾企業から地域商社への出資受入を通じた取引先の海外支援強化」

(秋田銀行)

### 1. 取組の概要

- ・県内事業者が抱える様々な営業上の課題を解決し、地域の魅力ある資源や特産品の販路拡大をはかるため2021年4月に地域商社「詩の国秋田(株)」を設立。マーケティングやブランディング、国内外での販路開拓といったトータルプロデュースを行う。
- ・銀行系地域商社では全国初となる台湾企業からの出資受入により、従来より取引支援を強化していた台湾において、より強固な輸出入の支援体制を整備する。

### 2. 取組を始めるに至った経緯、動機等

- ・秋田は中小零細企業が多く、営業力をはじめ販路拡大のリソースが不足している。また、銀行の支援もビジネスマッチングなど事業者同士の紹介に止まっており、直接的な営業活動やマーケット情報の収集、商品開発支援などの商社機能を有する、地域に根ざした企業体が必要と判断した。
- ・将来的に国内マーケットの縮小が予想されるなか、海外取引支援は地域経済の成長に不可欠なプロジェクトである。一方で、地域商社の人員は限られており海外に注力するマンパワーも乏しいことから、台湾企業の幅広いネットワークを活用する方法を検討していた。

### 3. 具体的な取組内容

- ・中国信託ホールディング(CTBC)のグループ企業へ出資を依頼し、2021年6月に10百万円の出資を受け入れている。CTBCは台湾を中心に100店舗以上の営業拠点があり、そのネットワークを活用し、今後県内企業の海外進出やマーケティング、顧客紹介などの協力を依頼していく。
- ・【輸出】2021年9月に「かづの北限の桃」310kgを輸出し台湾の百貨店で販売、商品評価アンケートを実施した。また、12月には秋田県産りんご600kgを輸出、百貨店での販売のほかCTBC職員への直売会を実施し、まずは職員に対し秋田産品の魅力を周知した。
- ・【輸入】2021年7月に台湾マンゴー535kgを輸入し、県内道の駅8か所で販売した。2021年度中には秋田市中心部で台湾産商品を取り揃えた台湾フェアをCTBCと共同で開催する予定。台湾側が売りたい商品も取り扱うことで相互利益の関係を築き、経済の相互交流を図る。

### 4. 実施にあたり工夫した点(金融機関の役割・推進体制面・PDCAサイクル面等)

- ・台湾内でのネットワーク強化にあたり、CTBCとは単純な連携協定ではなく、より強固な関係を築くため出資という形で協力を依頼した。
- ・CTBC職員向けに秋田の魅力の周知・PRを実施し、顧客紹介や共同イベントの実施などへの支援・協力を得やすい関係を構築する。
- ・2021年6月に出資受入を実施したものの、コロナ禍によりこれまで秋田、台湾双方において具体的な商談やイベントなどの活動はできていないが、今後アフターコロナを見据えた企画(輸出入を通じた相互交流により将来的な観光需要の掘り起こしなど)も進めていく。

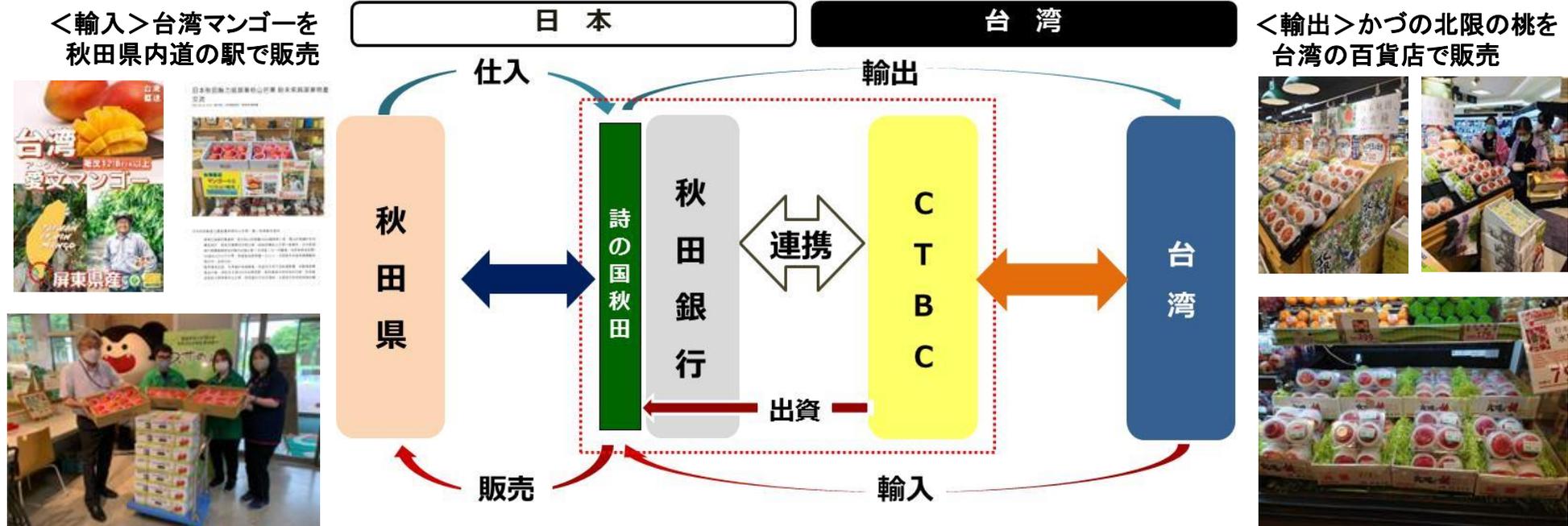
### 5. 取組の成果(取組中の場合は目標値・KPI等)

- ・設立初年度の海外販路開拓の目標金額は500万円。設立間もなく、かつ、コロナ禍での活動制限により、台湾向け商談は63件(2021年12月時点)に止まっているが、これまでに県産果実の輸出、台湾産果実の輸入のほか、2021年10月に台北支店の開設及びECサイトをオープンした。
- ・今回のCTBCグループからの出資受入により、台湾におけるマーケティングや販路開拓、輸出手続きなどの支援体制が整っており、地元事業者の海外取引拡大を通じて地域経済の維持・発展に取り組んでいく。

## 6. スキーム図等

# 詩の国秋田(株)とCTBCが連携し、秋田×台湾のビジネスを展開する。

銀行系地域商社への台湾企業からの出資は、全国初！



- ・ 秋田と台湾が互いの消費者ニーズにあった商品の売買をはかり、相互に「売り手」と「買い手」になる持続的なビジネス環境を構築する。
- ・ 2021年10月に台北支店の開設及びECサイトをオープン。今後もアフターコロナを見据え、積極的な経済交流を進め、将来的なインバウンド・アウトバウンドの環境整備をはかる。